

2025年度

ニチイキッズ栄生保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した
保育施設の評価	評価日	2026年2月2日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」保育理念を念頭に置き、毎日の生活の見直しを常に行なってきた。スタッフの気づきやアイデアを盛り込み、実践し反省をし、より良い生活となるように取り組んできた。一年を振り返ると、子どもたちの生活や遊びが、さらに充実したものになったと私たちは感じている。来年度もスタッフ一人一人の持ち味を發揮し、子供たちの園生活がより豊かなものとなるように努めたい。
子どもの発達援助	『遊びは学び』、私たち保育士が大切にしている言葉である。一人一人の様子を観察し、好きな遊び、興味が持てそうな遊び、昔ながらの遊び等用意して、子供たちにとって色々な経験に繋がるように遊びの提案をしてきた。また、身支度等の場面では、子どもたちが「自分で！」と主張する姿を尊重した。見守ったり、手伝ったりする中で「楽しい、面白い、もっとやたい！」という意欲を大切にしてきた。そうした中で、「できた！」「上手、上手！」と子どもたちと手を叩いて喜ぶ子どもたちの姿は何事にも代え難い。この経験を基に、様々な遊びを通して、子供たちと同じようにスタッフも学び続けていく。
保護者に対する支援	今年度は保護者様からのリクエストに応え、保育参加を年2回実施することにした。保護者様が園の行事に参加していただくことで、集団生活の中でのお子様の様子を知っていただく良い機会となっている。また、コドモンの配信や登降園時に園での様子を口頭でお話し共有することで、現在のお子様の状況を知っていただけたと感じている。そうした中で、お子様に対する保護者様の思いを受け止め、日々の保育に生かすことができた。

保育を支える組織的基盤	法令を遵守し、保育所保育指針に基づいた保育を提供できるよう、迷ったときは道標とした。外部研修、社内研修を受講し、特に子ども理解に於いて、子どもの立場になって考える機会を増やした。日々の実践からの学びを大切にし、より良い保育を目指します。
-------------	--

総評
<p>昨年度から、新しくスタッフを迎えたことで、スタッフ一人一人の個性が際立ってきて、賑やかな一年となった。その中で、法令を遵守する意識、保育所保育指針に基づいた考え方に立ち帰り、保育の質の向上に努めた。子供たちとの園生活を見直し、実践に繋げることで、毎日が更に充実したものとなったと感じている。昨年度とは違った成果を得られたと考えるが、来年度もスタッフ一人一人が、新しい挑戦をすることで、より良い保育の提供ができるように努めたい。大切なお子様を安心して預けていただける園となるよう日々の努力を重ねていく。</p>